

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成20年度第1回スポーツ振興審議会
開催日時	平成20年9月30日(火) 13時00分～14時20分
開催場所	高松市役所 11階 114会議室
議 題	会長・副会長の選任について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	城門委員, 小島委員, 小西委員, 多田委員, 田中委員, 野崎委員, 長谷川委員, 林委員, 松本委員, 山下委員
傍 聴 者	1 人 (定員 30 人)
担当課および 連絡先	スポーツ振興課 839-2626

### 会議経過および会議結果

次のとおり会議を開会し、議題について協議した。

#### 1 会長および副会長の互選

高松市スポーツ審議会条例第6条1項の規定に基づき、委員の互選により、

(結果)

会 長 野崎委員

副会長 林委員, 長谷川委員

#### 2 会議の成立および会議の公開について

会長は、会議の成立および会議は公開するとの確認を行った。

#### 3 報告事項について

次の報告事項について事務局から報告した。

(1) . スポーツ振興課の業務概要について

(2) . 屋島陸上競技場の再整備について

(3) . 高松市スポーツ振興基本計画(仮称)について

(4) . その他

#### 1 スポーツ振興課の業務概要について

(委員)

教育委員会から市長部局に移ったことでの基本方針などの変化はあるか。

(事務局)

大きな変化はないが、地域密着型プロスポーツクラブ等の支援を行うこととなった。

(事務局)

法律の改正により、文化とスポーツを市長部局で所管できるようになった。市としては、を文化・スポーツのまちづくりの一連となって地域で行うが方針である。教育委員会から出たことでスポーツ振興の基本方針が変わることはないが、市長部局になったことで、より地域と密着した取組みを行うことができると考えている。

## 会議経過および会議結果

### 2 屋島陸上競技場の再整備について

(委員)

地域の高齢者が散歩にいけるようにバリアフリー化を推進してほしい。それと季節の草花を植えてほしい。バックスタンドにガラス張りの喫茶室を設置し、保護者がそこから観戦できるようにしてほしい。

(委員)

屋島陸上競技場のほうが丸亀陸上競技場より利用者数は多いことから市民に愛される陸上競技場を作してほしい。

(委員)

公認の陸上競技場にならなくても天然芝を養成する期間等を考えると、四国初の人工芝のサッカー競技場を作ってみてはどうか。車社会の香川県では、大会開催時に駐車場がネックではないか。

(事務局)

高松市より東には、陸上競技場がないことと考えている。現在かなりの方が屋島陸上競技場を利用していることから陸上競技場は必要である。

高松市では、陸上競技場を再整備することを前提としているので、サッカー場ありきではなく、市民に愛される陸上競技場をつくるのが大前提である。

高松市が考えていることは、再整備した段階では J リーグは開催できない。ただし、将来的に開催できる施設にするかどうかは、これから基本構想の中で考えていく。

### 3 高松市スポーツ基本計画について

(委員)

地域には、大小さまざまな公園があるがレクリエーションやスポーツを行える公園が少ないと思うので、公園を自由に、多目的に使えるようにしてはどうか。公園緑地課等とスポーツ振興課が連携し、健康づくりや体力づくりに役立つ公園を整備してもらいたい。

(委員)

高松市のスポーツ振興は競技力向上ではなく、生涯スポーツの振興を図るべきである。

自然や今ある施設を使ったプログラムのものを考えるべきである。高松市民のためには、地元でもっと愛されるスポーツ施設を整備するべきだ。

(委員)

スポーツ振興基本計画を22年2月に策定するスケジュールになっているが、図の基本計画の見直しが23年に予定されている。国の計画見直しの時期とあわせられないか。

### 4 その他

(委員)

南部地域の運動公園は、どうなっているのか。

(事務局)

ある程度市として基本的な方針をつくって、改めて意見を聞きます。